

阪南2区 ミニエコブロック（内部材取付後）の見学会の概要

- 日 時 令和2年12月1日（火）9:30～10:30
- 場 所 阪南2区北側緑地 ミニエコブロック仮置き場
- 主 催 CIFER・コア
- 協 力 (公財)大阪府都市整備推進センター
共和コンクリート工業株式会社
東亜建設工業株式会社
- 参加者数 24名

CIFER・コアでは、かねてより、学識経験者、WG 構成員、大阪港湾局（令和2年10月1日付けで「大阪府港湾局」から「大阪港湾局」に名称変更）、大阪府都市整備推進センター、事務局で構成する研究会において、魚類等の蝸集効果が期待できるミニエコブロックの検討を行ってきました。

この度、(公財)大阪府都市整備推進センターからの委託を受けて、縦・横・高さが各々2mのものを製作し、阪南2区北側緑地に隣接した仮締切堤上に水深を変えて4基設置することになりました。

このミニエコブロックは、フェニックス泉大津処分場に2006年に設置され、魚類蝸集効果が確認されているエコブロックを小型化したもので、製作費を大幅に低減することができました。

ブロックには内部材として、魚集誘引や生物付着効果のあるマンテンマル、貝殻充填漁礁、人工藻等、CIFER・コア会員企業等の製品を取り付けることとし、その作業が完了しましたので、12月2日の据付工事に先立ち、上記研究会の学識経験者、大阪港湾局等の関係者を対象に見学会を開催しました。

ミニエコブロック見学会の状況【12月1日(火)】

コロナ禍のため三密を避け、大阪府都市整備推進センター阪南事業所前駐車場においてブロック製作・据付、内部材についての概要説明を行ったうえ、北側緑地の仮置き場へ移動し、内部材の取付状況の見学、製作担当者による説明を行いました。



▲説明会（都市整備推進センター阪南事業所前）



▲見学会（北側緑地 ミニエコブロック仮置き場）

内部材の設置状況

それぞれのミニエコブロックの上部空間に取り付けられた袋詰め自然石及び貝殻充填漁礁は波浪対策としてそれぞれの部材を結束バンドで固定しています。下部空間に取り付けるマンテンマル、人工藻等の内部材は上から吊るし、下はアンカーボルト等で底版に固定しています。



◀貝殻充填漁礁
(シェルナース)



◀袋詰め自然石



▲内部材の設置状況

- ① 小魚保護スクリーン (KIKKONET)
- ② 硬質ポリ塩化ビニル管
- ③ 魚集誘引材 (マンテンマル)
- ④ U字コンクリート
- ⑤ 人工藻 (シザロン加工品)

ミニエコブロック据付状況【12月2日(水)】

見学会翌日の早朝からミニエコブロックの据付作業が行われ、ブロックの安定性を確保するためブロック背後にフィルターユニットが敷設されました。



▲ミニエコブロックの仮置き場・設置場所



▲ミニエコブロック据付状況



▲フィルターユニット敷設状況

この日は潮位が高いためミニエコブロック天端は海面下となりました

